

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金経営状況報告書

法人の概要（令和8年6月30日時点）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金
- 2 目 的 県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖及び水や魚に親しむ機会の提供の促進に関する事業を行い、魚の豊かな川づくりを推進し、もって本県の内水面漁業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月23日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立許可年月日
平成6年3月4日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日
(財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金設立登記年月日
平成6年3月7日)
- 5 基 本 財 産 581,421,000円
出えん金 600,000,000円
鳥 取 県 出 え ん 金 275,000,000円
関 係 市 町 村 出 え ん 金 200,000,000円
建 設 業 協 会 出 え ん 金 100,000,000円
漁 業 関 係 団 体 出 え ん 金 25,000,000円
平成29年度～令和5年度取崩し 38,500,000円
令和2年度～令和7年度償却原価 19,921,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 4人 理 事 4人 監 事 2人
評 議 員 太 田 太 郎（公立大学法人公立鳥取環境大学環境
学部環境学科准教授）
〃 中 前 雄一郎（とっとり生物多様性アドバイザー）
〃 平 野 誠 師（山陰旋網漁業協同組合顧問）
〃 森 下 恵 子（公益社団法人鳥取県栄養士会管理栄養士）
代 表 理 事 中 田 達 彦（日吉津村長）
業 務 執 行 理 事 氏 良 介（鳥取県農林水産部水産振興局長）

理 事 米 谷 浩 一（一般社団法人鳥取県建設業協会専務
理事）

〃 永 原 聡（千代川漁業協同組合代表理事組合長）

監 事 長 石 良 幸（鳥取市農林水産部長）

〃 西 根 泰 章（西日本信用漁業協同組合連合会常務
理事）

7 職 員 3 人

8 事 務 所 鳥取市東町一丁目 2 2 0 番地

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

令和7年度事業実施状況

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために内水面漁業協同組合（以下「内水面漁協」という。）が実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ、フナ）及び水産資源の確保等（アユ、ヤマメの産卵場造成等）のための事業に対し、事業費の一部を助成した。

当法人は、内水面漁協が実施する事業に対して助成を行うことで、水産資源の保護増殖、河川及び湖沼の環境改善に寄与している。

決算額：7,746,000円

[実施状況]

ア 実施主体：千代川漁業協同組合

- ・概要：アユの稚魚 810 kg放流、アユの産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：2,625,005 円（2,326,000 円）

イ 実施主体：天神川漁業協同組合

- ・概要：アユの稚魚 15 万尾放流、ヤマメの成魚 450 kg放流、溪流魚の産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：3,498,000 円（1,361,000 円）

ウ 実施主体：日野川水系漁業協同組合

- ・概要：ヤマメの成魚 1,714kg 放流、ヤマメの稚魚 21,650 尾放流、アユの産卵場造成
- ・事業費（うち助成費）：5,613,300 円（2,665,000 円）

エ 実施主体：湖山池漁業協同組合

- ・概要：フナ採卵・孵化 50,000 尾放流、ウナギの稚魚 30 kg放流、エビ等の産卵場造成、シジミ孵化放流及び漁場清掃、ワカサギ卵放流場所調査
- ・事業費（うち助成費）：948,689 円（693,000 円）

オ 実施主体：東郷湖漁業協同組合

- ・概要：ウナギの稚魚 60 kg放流、フナの稚魚 30,000 尾放流、エビ等の産卵場造成、漁場整備、池の清掃、湖底耕うん
- ・事業費（うち助成費）：1,011,000 円（701,000 円）

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、環境保全のために、アユの捕食被害対策としてのテグス張りの効果検証、アユの捕食被害状況の把握のための調査を行った。

決算額：275,000円

[実施状況]

ア カワウ被害防止調査（県受託事業）

県の指導を受けて千代川漁協実施後のテグス張りの状況調査、効果の確認等を行ったほか、千代川の代表地点において定点カメラによるカワウの撮影試験を行った。

イ アユ放流状況調査

アユの放流状況等について千代川漁協と天神川漁協から聞き取りを行い地図化したものを、法人のホームページに掲載した。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協等が河川や湖沼において実施する魚等のつかみ取り及び放流等の15事業（祭りやイベントの中での開催も可。）に対し、事業費の一部を助成した。

近年、水や魚に親しむ機会が減少しており、本事業のように豊かな自然環境の中で、直接水や魚に触れることは、子どもたちの豊かな成長に寄与し、環境への理解を深めるための貴重な体験となるほか、水産資源の保護増殖に対する関心が高まる。

決算額：610,000円

[実施状況]

ア 実施主体：鳥取市

- ・概要：地域の児童 17 名によるヤマメの稚魚放流
- ・効果：自然豊かな清流である袋川の魚や川に対して関心を深める機会となったほか、自然・生命・人間を慈しむ心を育むことができた。
- ・事業費（うち助成費）：66,300 円（33,000 円）

イ 実施主体：八頭町

- ・概要：町内園児約 50 名（3 保育所）によるヤマメの稚魚放流
- ・効果：水産資源の保護及び増殖を図るとともに、豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となった。また、放流した魚が泳ぐ様子を観察することで、魚の豊かな川づくりの意義の醸成に繋がった。
- ・事業費（うち助成費）：120,000 円（50,000 円）

ウ 実施主体：若桜町

- ・概要：町内園児 10 名によるヤマメの稚魚放流
- ・効果：魚や水環境に興味・関心を持ってもらうことができたほか、釣客（観光客）の集客、清流のまち若桜の PR にも繋がった。
- ・事業費（うち助成費）：100,320 円（50,000 円）

エ 実施主体：勝部地域まちづくり協議会

- ・概要：参加者約 100 名によるヤマメのつかみ取り
- ・効果：子供やその保護者に地元の豊かな自然や魚に親しむ機会を提供することができたほか、同時開催の祭りの盛り上げの一助となり、活力あるまちづくりの推進に寄与した。
- ・事業費（うち助成費）：109,030 円（50,000 円）

オ 実施主体：河原町あゆ祭企画実行委員会

- ・概要：中学生以下の参加者約 500 名によるアユのつかみ取り
- ・効果：水や魚に親しむことの楽しさを体験するとともに、魚の豊かな川づくりを推進する機会となったほか、河原地域のまちづくり、商工産業の活性化に寄与した。
- ・事業費（うち助成費）：429,500 円（50,000 円）

カ 実施主体：国府フィッシングフェスタ実行委員会

- ・概要：参加者約 200 名によるヤマメ釣り
- ・効果：豊かな自然の中で魚や川に対する関心を深める機会となったほか、県内外から多数参加があったことから、国府地域の活性化に寄与した。
- ・事業費（うち助成費）：1,062,000 円（50,000 円）

キ 実施主体：小鷲河ふる里をまもる会

- ・概要：参加者約 300 名によるヤマメのつかみ取り、淡水魚の生態観察
- ・効果：親子のふれあいの場となったほか、自然環境の大切さ、河川に生息する生き物について学ぶ機会となった。また、事業後に同場所への川遊びの来訪者が増えたことから、地域の活性化にも寄与している。
- ・事業費（うち助成費）：122,290 円（50,000 円）

ク 実施主体：佐治ふるさと祭り実行委員会

- ・概要：参加者 51 名によるヤマメ釣り
- ・効果：豊かな自然や魚の特性を知り、自然の恵みの大切さを再認識してもらうとともに、水産資源の保護を促進することができた。
- ・事業費（うち助成費）：95,784 円（47,000 円）

ケ 実施主体：三滝まもり隊

- ・概要：参加者 150 名によるヤマメ及びイワナのつかみ取り
- ・効果：水と魚に親しみ、楽しさを体験する機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：85,310 円（42,000 円）

コ 実施主体：智頭町親水公園連絡協議会

- ・概要：町内児童 32 名によるヤマメのつかみ取り、河川学習
- ・効果：自然の中で楽しむことの素晴らしさを感じ、郷土の川への親しみを育むとともに、自然環境の大切さや生態系について考える機会となった。また、人と動植物との関わり、水辺の安全意識について学ぶことができたほか、仲間との親睦を深めることができた。
- ・事業費（うち助成費）：35,387 円（17,000 円）

サ 実施主体：高勢地域協議会

- ・概要：地域住民等約 100 名によるヤマメ及びイワナのつかみ取り
- ・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高める機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：60,000 円（30,000 円）

シ 実施主体：竹田地域協議会

- ・概要：地域住民等約 40 名によるヤマメのつかみ取り
- ・効果：豊富できれいな水や生き物、環境保全への関心を高める機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：50,000 円（25,000 円）

ス 実施主体：みささ村地域協議会

- ・概要：地域住民等約 130 名によるヤマメのつかみ取り
- ・効果：三徳川の魅力を再認識するとともに、魚の棲むきれいな川づくりへの意識を高める機会となった。
- ・事業費（うち助成費）：60,000 円（30,000 円）

セ 実施主体：江府町観光協会

- ・概要：小学生以下の参加者約 450 名によるアユのつかみ取り
- ・効果：地域の伝統行事の関連行事として行っていることから住民交流の場となったほか、水や魚に親しむ機会を提供することで河川美化の啓発を図ることができた。
- ・事業費（うち助成費）：200,000 円（50,000 円）

ソ 実施主体：日野川水系漁業協同組合

- ・概要：地域の園児 23 名によるサケの稚魚放流
- ・効果：豊かな自然環境の中で水や魚に親しむ機会となったほか、水産資源の保護増殖、漁業振興の活性化に繋がった。
- ・事業費（うち助成費）：73,800 円（36,000 円）

【公益目的事業 3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

(1) 講演会等

河川及び湖沼の環境の悪化等外的要因を起因とする水産資源に関する問題点を中心とした内容をテーマとし、講演会を開催した。有識者による講演により現況の認識及び情報の共有、また参加者による意見交換を行い、河川環境の改善のための方針の決定や水利調整を図る機会とした。

〔実施状況〕

令和 7 年度内水面漁業振興講演会

「地球温暖化がサケに及ぼす影響～サケを守りつつ、サケの恵みを受ける～」

本県において令和 4 年頃から激減しているサケの遡上について、県内の現状を知るとともに、世界的にも研究結果が高く評価されている講師から地球温暖化が及ぼす影響、今後の取組について学ぶ機会とする講演会を県の水産振興課と共同開催した。

- ・日 時：令和 7 年 10 月 28 日（火）午後 1 時 30 分から午後 3 時 35 分まで
- ・場 所：新日本海新聞社中部本社 2 階ホール（倉吉市上井町 1 丁目 156 番地）
- ・参加者：国土交通省、鳥取県、内水面漁協組合員等 35 名
- ・概 要

○発表 1 「鳥取県におけるサケ放流等の取組報告」

発表者 中前雄一郎氏（サケの飼育放流プロジェクト代表）

○発表 2 「鳥取県東部におけるサケ稚魚の出現について」

発表者 太田太郎氏（公立大学法人公立鳥取環境大学環境学部環境学科准教授）

○講演 「地球温暖化がサケに及ぼす影響～サケを守りつつ、サケの恵みを受ける～」

講 師 帰山雅秀氏（国立大学法人北海道大学名誉教授）

＜アンケートの実施＞

- ・次年度以降に実施する講演会等の検討のために参加者にアンケートを実施した。集計の結果、理解度、内容ともに高評価を得ることができた。

(2) マップの作成

当法人が作成している、2 河川 2 湖沼における各釣り場の表示や規則等を掲載した持ち運び可能な「マップ」を、毎年最新の情報に修正し各関係機関（市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協）に無償配布した。また、作成したマップをホームページに掲載し、幅広く活用してもらった。

内水面における禁止区域、規則等について、関係機関、ホームページを通じて、遊漁者等へ情報発信、周知を行った。

決算額：117,854円

[作成状況]

作成部数：4,010部

(天神川水系川マップ：1,680部、日野川水系川マップ：2,200部、湖山池マップ：90部、東郷池マップ：40部)

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	14,151,758	12,483,276	1,668,482
基本財産受取利息	14,151,758	12,483,276	1,668,482
受取補助金等	752,000	1,145,000	△ 393,000
受取鳥取県補助金	477,000	352,000	125,000
受取鳥取県受託金	275,000	793,000	△ 518,000
雑収益	1,785	407	1,378
受取利息	1,785	407	1,378
経常収益計	14,905,543	13,628,683	1,276,860
(2) 経常費用			
事業費	12,658,775	12,290,193	368,582
給料手当	3,200,981	3,053,641	147,340
退職給付費用	127,479	76,505	50,974
福利厚生費	519,567	495,314	24,253
旅費交通費	19,168	172,082	△ 152,914
通信運搬費	85,495	78,346	7,149
消耗品費	188,540	19,963	168,577
印刷製本費	117,854	116,098	1,756
光熱水料費	4,044	4,105	△ 61
賃借料	39,647	39,139	508
支払助成金	8,356,000	8,235,000	121,000
管理費	1,407,400	1,290,929	116,471
役員報酬	56,100	45,900	10,200
給料手当	800,245	763,411	36,834
退職給付費用	31,869	19,126	12,743
福利厚生費	129,891	123,828	6,063
旅費交通費	42,054	20,631	21,423
通信運搬費	211,996	200,672	11,324
消耗品費	20,444	2,101	18,343
光熱水料費	6,066	6,157	△ 91
賃借料	59,470	58,708	762
食糧費	4,565	4,381	184
雑費	700	2,014	△ 1,314
修繕費	44,000	44,000	0
経常費用計	14,066,175	13,581,122	485,053
評価損益等調整前当期経常増減額	839,368	47,561	791,807
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	839,368	47,561	791,807
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	839,368	47,561	791,807
一般正味財産期首残高	1,327,215	1,279,654	47,561
一般正味財産期末残高	2,166,583	1,327,215	839,368
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	14,226,726	14,296,197	△ 69,471
基本財産受取利息	14,226,726	14,296,197	△ 69,471
受取寄付金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	△ 14,068,709	△ 12,400,000	△ 1,668,709
一般正味財産への振替額	△ 14,068,709	△ 12,400,000	△ 1,668,709
当期指定正味財産増減額	158,017	1,896,197	△ 1,738,180
指定正味財産期首残高	581,262,983	579,366,786	1,896,197
指定正味財産期末残高	581,421,000	581,262,983	158,017
III 正味財産期末残高	583,587,583	582,590,198	997,385

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1) 増殖促進事業	(公2) ふれあい事業	(公3) 普及啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	12,736,582	12,736,582	1,415,176	14,151,758
基本財産受取利息	0	0	0	12,736,582	12,736,582	1,415,176	14,151,758
受取補助金等	275,000	477,000	0	0	752,000	0	752,000
受取鳥取県補助金	0	477,000	0	0	477,000	0	477,000
受取鳥取県受託金	275,000	0	0	0	275,000	0	275,000
雑収益	0	0	0	0	0	1,785	1,785
受取利息	0	0	0	0	0	1,785	1,785
経常収益計	275,000	477,000	0	12,736,582	13,488,582	1,416,961	14,905,543
(2) 経常費用							
事業費	9,919,739	1,610,299	1,128,737	0	12,658,775	0	12,658,775
給料手当	1,600,491	800,245	800,245	0	3,200,981	0	3,200,981
退職給付費用	63,739	31,870	31,870	0	127,479	0	127,479
福利厚生費	259,783	129,892	129,892	0	519,567	0	519,567
旅費交通費	4,571	9,985	4,612	0	19,168	0	19,168
通信運搬費	34,770	17,384	33,341	0	85,495	0	85,495
消耗品費	188,540	0	0	0	188,540	0	188,540
印刷製本費	0	0	117,854	0	117,854	0	117,854
光熱水料費	2,022	1,011	1,011	0	4,044	0	4,044
賃借料	19,823	9,912	9,912	0	39,647	0	39,647
支払助成金	7,746,000	610,000	0	0	8,356,000	0	8,356,000
管理費	0	0	0	0	0	1,407,400	1,407,400
役員報酬	0	0	0	0	0	56,100	56,100
給料手当	0	0	0	0	0	800,245	800,245
退職給付費用	0	0	0	0	0	31,869	31,869
福利厚生費	0	0	0	0	0	129,891	129,891
旅費交通費	0	0	0	0	0	42,054	42,054
通信運搬費	0	0	0	0	0	211,996	211,996
消耗品費	0	0	0	0	0	20,444	20,444
光熱水料費	0	0	0	0	0	6,066	6,066
賃借料	0	0	0	0	0	59,470	59,470
食糧費	0	0	0	0	0	4,565	4,565
雑費	0	0	0	0	0	700	700
修繕費	0	0	0	0	0	44,000	44,000
経常費用計	9,919,739	1,610,299	1,128,737	0	12,658,775	1,407,400	14,066,175
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,644,739	△ 1,133,299	△ 1,128,737	12,736,582	829,807	9,561	839,368
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,644,739	△ 1,133,299	△ 1,128,737	12,736,582	829,807	9,561	839,368
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,644,739	△ 1,133,299	△ 1,128,737	12,736,582	829,807	9,561	839,368
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	1,327,215	1,327,215
一般正味財産期末残高	△ 9,644,739	△ 1,133,299	△ 1,128,737	12,736,582	829,807	1,336,776	2,166,583
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	12,804,053	12,804,053	1,422,673	14,226,726
基本財産受取利息	0	0	0	12,804,053	12,804,053	1,422,673	14,226,726
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 12,661,838	△ 12,661,838	△ 1,406,871	△ 14,068,709
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 12,661,838	△ 12,661,838	△ 1,406,871	△ 14,068,709
当期指定正味財産増減額	0	0	0	142,215	142,215	15,802	158,017
指定正味財産期首残高	0	0	0	523,136,685	523,136,685	58,126,298	581,262,983
指定正味財産期末残高	0	0	0	523,278,900	523,278,900	58,142,100	581,421,000
III 正味財産期末残高	△ 9,644,739	△ 1,133,299	△ 1,128,737	536,015,482	524,108,707	59,478,876	583,587,583

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,747,253	231,304	1,515,949
未収金	477,000	1,145,000	△ 668,000
流動資産合計	2,224,253	1,376,304	847,949
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	81,421,000	81,421,000	0
投資有価証券	500,000,000	499,841,983	158,017
基本財産合計	581,421,000	581,262,983	158,017
固定資産合計	581,421,000	581,262,983	158,017
資産合計	583,645,253	582,639,287	1,005,966
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	8,841	18,297	△ 9,456
預り金	48,829	30,792	18,037
流動負債合計	57,670	49,089	8,581
負債合計	57,670	49,089	8,581
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	581,421,000	581,262,983	158,017
(うち基本財産への充当額)	(581,421,000)	(581,262,983)	(158,017)
2. 一般正味財産	2,166,583	1,327,215	839,368
正味財産合計	583,587,583	582,590,198	997,385
負債及び正味財産合計	583,645,253	582,639,287	1,005,966

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 移動平均法による原価法によっている。ただし、債券の取得金額と債券価額が異なる時にその差額が金利の調整を認めるものは償却原価法（定額法）によっている。

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	81,421,000	81,421,000	81,421,000	81,421,000
投資有価証券	499,841,983	200,158,017	200,000,000	500,000,000
小 計	581,262,983	281,579,017	281,421,000	581,421,000
合 計	581,262,983	281,579,017	281,421,000	581,421,000

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	81,421,000	(81,421,000)	(0)	—
投資有価証券	500,000,000	(500,000,000)	(0)	—
小 計	581,421,000	(581,421,000)	(0)	—
合 計	581,421,000	(581,421,000)	(0)	—

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
ソフトバンクグループ 株式会社 第59回無担保社債	300,000,000	289,230,000	△ 10,770,000
ソフトバンクグループ 株式会社 第66回無担保社債	200,000,000	198,620,000	△ 1,380,000
小 計	500,000,000	487,850,000	△ 12,150,000
合 計	500,000,000	487,850,000	△ 12,150,000

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 令和7年度鳥取県魚を 育む内水面漁業活動支 援事業費補助金	鳥取県	0	477,000	477,000	0	—
合 計		0	477,000	477,000	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額 基本財産受取利息振替額	14,068,709
合 計	14,068,709

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位：円)

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店	運転資金として	1,747,253
	未収金			477,000
		鳥取県補助金	令和7年度鳥取県魚を育む内水面漁業活動 支援事業費補助金未収分	477,000
流動資産合計				2,224,253
(固定資産) 基本財産	預金	西日本信用漁業協同組合連 合会鳥取支店 定期預金		81,421,000
			公益目的保有財産であり、運用益を公益目 的事業の財源として使用している。	73,278,900
			公益目的事業に必要な業務又は活動の用に 供する財産であり、運用益を管理費の財源 として使用している。	8,142,100
	投資有価証券	事業債 ソフトバンクグループ株式会社 第59回無担保社債 ソフトバンクグループ株式会社 第66回無担保社債		500,000,000
				300,000,000
			公益目的保有財産であり、運用益を公益目 的事業の財源として使用している。	270,000,000
			公益目的事業に必要な業務又は活動の用に 供する財産であり、運用益を管理費の財源 として使用している。	30,000,000
				200,000,000
			公益目的保有財産であり、運用益を公益目 的事業の財源として使用している。	180,000,000
			公益目的事業に必要な業務又は活動の用に 供する財産であり、運用益を管理費の財源 として使用している。	20,000,000
	固定資産合計			
資産合計				583,645,253
(流動負債)	未払金	3月分NTT西日本等利用料 労働保険料	NTTファイナンス(株)に対する未払額	8,841
			労働保険料確定による差引未払額	5,621
	預り金	役員報酬預り分 職員給料預り分		3,220
				48,829
			源泉所得税	468
			源泉所得税、住民税	48,361
流動負債合計				57,670
負債合計				57,670
正味財産				583,587,583

附属明細書

1. 基本財産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	西日本信用漁業協同組合連合会定期預金	81,421,000	81,421,000	81,421,000	81,421,000
	ソフトバンクグループ 株式会社第55回無担保社債	199,841,983	158,017	200,000,000	0
	ソフトバンクグループ 株式会社第59回無担保社債	300,000,000	0	0	300,000,000
	ソフトバンクグループ 株式会社第66回無担保社債	0	200,000,000	0	200,000,000
	基本財産計	581,262,983	281,579,017	281,421,000	581,421,000

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

令和8年度事業計画

【公益目的事業1：県内の河川及び湖沼における水産資源の増殖促進に関する事業】

1 増殖促進事業

県内における河川や湖沼を取り巻く環境は、社会経済の進展による生産拡大及び生活様式の変化に伴う人為的汚濁廃水の増大、更に河川工事、自然流水量の減少等により自然生態系が大きく変化し、水生動物等の生息環境が著しく損なわれ、魚類等の水産資源が年々減少している。水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進するため、河川及び湖沼の環境改善の進展と並行して、激減している魚類等の水産資源の保護及び培養に積極的に取り組む。

(1) 助成

河川及び湖沼の水産資源の増殖を促進するために内水面漁協が実施する淡水魚介類の種苗の放流（アユ、ヤマメ、ウナギ等）及び水産資源の確保等（淡水魚介類の産卵場造成、カワウの追払い等）のための事業に対し、事業費の一部を助成する。

〈助成計画〉

実施主体	助成額	事業内容
千代川漁業協同組合	2,338,000 円	アユの種苗放流、アユの産卵場造成
天神川漁業協同組合	1,396,000 円	アユ等の種苗放流、溪流魚の産卵場造成
日野川水系漁業協同組合	2,601,000 円	溪流魚の種苗放流、アユの産卵場造成等
湖山池漁業協同組合	717,000 円	ウナギ等の種苗放流、シジミ漁場清掃等
東郷湖漁業協同組合	674,000 円	ウナギ、フナ種の種苗放流、漁場整備等
計	7,726,000 円	

(2) 調査等

河川及び湖沼における水産資源の保護増殖、生態系の維持及び保全、また環境保全等のための調査等を実施する。結果等については、ホームページ上での掲載等の方法により、広く社会一般に公表する。

〈実施計画〉

・アユ放流状況調査

千代川漁協と天神川漁協のアユの放流状況等について調査し、地図化する。

【公益目的事業2：県内の河川及び湖沼における水生動物等に親しむ機会の提供の促進に関する事業】

2 ふれあい事業

一般県民にとって、河川や湖沼は川遊びや釣りなどの親水性レクリエーションの場となっており、社会的に大きな役割を果たしている。しかし、現状は河川及び湖沼の流域の改変や内水面を取り巻く環境の変化に伴い、水生動物等に親しむ機会も減少してきているため、この役割がますます重要となっていることから、内水面の環境に対する理解を深め、関心を持ってもらい、河川や湖沼において水生動物等に親しむ機会を提供するとともに水産資源と人との共存及び生態系の保全・維持の重要性を周知し、地域の活性化に寄与することを目指す。

(1) 助成

県内の市町村、非営利団体、内水面漁協等が河川や湖沼において実施する魚のつかみ取り、放流等の事業（祭り、イベント内での開催も可。）に対し、事業費の一部を助成する。

なお、この事業は前年度中に公募し、応募のあったすべての事業について理事会で審査・選定を行い、最終的に助成対象とするか決定している。令和8年度は、応募のあった下記12実施主体の事業に対して助成を行う。

また、実施主体が市町村である場合は当法人から直接、その他の団体等へは県から補助を受けて助成する。

〈助成計画〉

実施主体	助成額	事業内容
鳥取市	39,000 円	地域の小学生によるヤマメの稚魚放流
八頭町	50,000 円	地域の園児によるヤマメの稚魚放流
若桜町	50,000 円	地域の園児によるヤマメの稚魚放流
河原町あゆ祭企画実行委員会	50,000 円	参加者(中学生以下)によるアユのつかみ取り

小鷲河ふる里をまもる会	50,000 円	参加者による淡水魚の生態観察、ヤマメのつかみ取り
佐治ふるさと祭り実行委員会	50,000 円	参加者によるヤマメ釣り
三滝まもり隊	45,000 円	参加者によるヤマメ釣り
智頭町親水公園連絡協議会	17,000 円	町内児童による学習会、ヤマメのつかみ取り
高勢地域協議会	30,000 円	参加者による水辺の環境整備、ヤマメ及びイワナのつかみ取り
竹田地域協議会	25,000 円	地域児童等による水辺の環境整備、ヤマメのつかみ取り
みささ村地域協議会	30,000 円	親子の参加者によるヤマメのつかみ取り
日野川水系漁業協同組合	36,000 円	地域の園児によるサケの稚魚放流
計	472,000 円	

【公益目的事業3：県内の河川及び湖沼に関する水産資源の保護培養のための普及啓発に関する事業】

3 普及啓発事業

県内の河川及び湖沼において円滑に水生動物等にやさしい生息環境づくりを推進していくため、内水面に関わる利害関係者（一般県民、行政、漁業関係者等）が内水面における水産資源の実情を認識し、正しい専門知識を身につけ効果的な事業の実施及び信頼を深め協力体制の構築に繋がる機会を提供するほか、内水面に関する規則等重要な情報を積極的に発信していくこと等により、水産資源の保護培養のための普及啓発を行う。

(1) 講演会の開催等

河川及び湖沼の環境の悪化等外的要因を起因とする水産資源に関する諸問題をテーマとし、講演会等を開催する。現況の認識及び情報共有の機会とするほか、参加者による意見交換等を行い、河川環境の改善のための方針の決定や水利調整を図る。

〈実施計画〉

ア 鳥取県と共催で、県内の内水面における販売促進に関する講演会を開催する。

イ 天神川復興祭（仮）へ参加することとし、ヤマメ及びイワナの放流イベント等に対して協賛する。

(2) マップの作成

法人が作成している県内主要河川、湖沼における各釣り場の表示や規則等を掲載した「マップ」を、毎年度最新の情報に修正して各関係機関（市町村、遊漁証取扱先、内水面漁協）に無償配布する。また、作成したマップをホームページに掲載し、幅広く活用してもらう。

〈作成計画〉

合計 4,400 部（天神川水系川マップ、日野川水系川マップ、湖山池マップ、東郷池マップ）

(29) 公益財団法人 鳥取県魚の豊かな川づくり基金

収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	16,076	14,151	1,925	
基本財産受取利息	16,076	14,151	1,925	債券、定期運用益
受取補助金等	333	770	△ 437	
受取鳥取県補助金	333	495	△ 162	
受取鳥取県受託金	0	275	△ 275	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	16,410	14,922	1,488	
(2) 経常費用				
事業費	13,341	12,809	532	
給料手当	3,320	3,208	112	
退職給付費用	156	156	0	
福利厚生費	600	560	40	
旅費交通費	30	36	△ 6	
通信運搬費	92	94	△ 2	
消耗品費	0	200	△ 200	
印刷製本費	135	120	15	
光熱水料費	12	12	0	
賃借料	48	48	0	
支払負担金	750	0	750	
支払助成金	8,198	8,375	△ 177	
管理費	1,653	1,517	136	
役員報酬	85	72	13	
給料手当	830	802	28	
退職給付費用	39	39	0	
福利厚生費	150	140	10	
旅費交通費	55	50	5	
通信運搬費	240	220	20	
消耗品費	30	30	0	
修繕費	44	44	0	
光熱水料費	18	18	0	
賃借料	72	72	0	
食糧費	10	10	0	
支払手数料	60	0	60	
雑費	20	20	0	
経常費用計	14,994	14,326	668	
評価損益等調整前当期経常増減額	1,416	596	820	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	1,416	596	820	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,416	596	820	
一般正味財産期首残高	2,150	1,279	871	
一般正味財産期末残高	3,566	1,875	1,691	
II 指定正味財産増減の部				
基本財産運用益	15,792	14,226	1,566	
基本財産受取利息	15,792	14,226	1,566	債券運用益
一般正味財産への振替額	15,792	14,068	1,724	
一般正味財産への振替額	15,792	14,068	1,724	債券運用益
当期指定正味財産増減額	0	158	△ 158	
指定正味財産期首残高	581,421	581,262	159	
指定正味財産期末残高	581,421	581,420	1	
III 正味財産期末残高	584,987	583,295	1,692	

収支予算書内訳表

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	合計
	(公1) 増殖促進事業	(公2) ふれあい事業	(公3) 普及啓発事業	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	14,469	14,469	1,607	16,076
基本財産受取利息	0	0	0	14,469	14,469	1,607	16,076
受取補助金等	0	333	0	0	333	0	333
受取鳥取県補助金	0	333	0	0	333	0	333
雑収益	0	0	0	0	0	1	1
受取利息	0	0	0	0	0	1	1
経常収益計	0	333	0	14,469	14,802	1,608	16,410
(2) 経常費用							
事業費	8,788	1,534	3,019	0	13,341	0	13,341
給料手当	830	830	1,660	0	3,320	0	3,320
退職給付費用	39	39	78	0	156	0	156
福利厚生費	150	150	300	0	600	0	600
旅費交通費	10	10	10	0	30	0	30
通信運搬費	18	18	56	0	92	0	92
印刷製本費	0	0	135	0	135	0	135
光熱水料費	3	3	6	0	12	0	12
賃借料	12	12	24	0	48	0	48
支払負担金	0	0	750	0	750	0	750
支払助成金	7,726	472	0	0	8,198	0	8,198
管理費	0	0	0	0	0	1,653	1,653
役員報酬	0	0	0	0	0	85	85
給料手当	0	0	0	0	0	830	830
退職給付費用	0	0	0	0	0	39	39
福利厚生費	0	0	0	0	0	150	150
旅費交通費	0	0	0	0	0	55	55
通信運搬費	0	0	0	0	0	240	240
消耗品費	0	0	0	0	0	30	30
修繕費	0	0	0	0	0	44	44
光熱水料費	0	0	0	0	0	18	18
賃借料	0	0	0	0	0	72	72
食糧費	0	0	0	0	0	10	10
支払手数料	0	0	0	0	0	60	60
雑費	0	0	0	0	0	20	20
経常費用計	8,788	1,534	3,019	0	13,341	1,653	14,994
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,788	△ 1,201	△ 3,019	14,469	1,461	△ 45	1,416
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,788	△ 1,201	△ 3,019	14,469	1,461	△ 45	1,416
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,788	△ 1,201	△ 3,019	14,469	1,461	△ 45	1,416
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	2,150	2,150
一般正味財産期末残高	△ 8,788	△ 1,201	△ 3,019	14,469	1,461	2,105	3,566
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	0	0	0	14,213	14,213	1,579	15,792
基本財産受取利息	0	0	0	14,213	14,213	1,579	15,792
一般正味財産への振替額	0	0	0	14,213	14,213	1,579	15,792
一般正味財産への振替額	0	0	0	14,213	14,213	1,579	15,792
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	523,279	523,279	58,142	581,421
指定正味財産期末残高	0	0	0	523,279	523,279	58,142	581,421
III 正味財産期末残高	△ 8,788	△ 1,201	△ 3,019	537,748	524,740	60,247	584,987